2017年9月3日　　石研究ってすごいヨ!新聞

研究ってすごいヨ。新聞

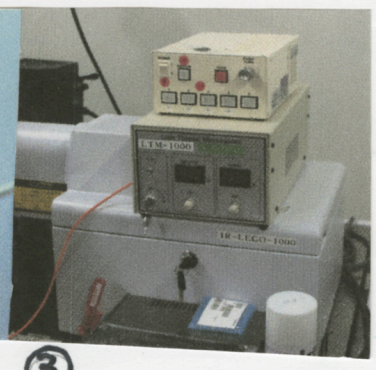
六年 畑野潮音

「研究」が地球を救う?!

東山先生の研究は「植物の受精のしくみ」で、これを応用し新しい植物を作りだそうとしています。近く地球の人口は90億人を突破します。しかし新しい植物は食料危機を解決するかもしれません。

①

②



③

①交雑で新種が誕生するかも？
②花粉管
③東山先生自作の機械！

「花粉」は生きている?!

皆さんは、「植物の受精のしくみ」を知っていますか。ぼくはおしべの花粉がめしべに着けば実や種ができ、花粉はただの粉だと思っていました。しかし東山先生の発表を聞いて花粉はただの粉ではなく、まるで種から根がでるように管をのばし卵細胞に正確に届くのだとわかりました。花粉は生きているのです。実は、正確に届く所が三りなのです、東山先生は卵細胞が分子をだして花粉の管を導びくのを発見しました。この性質を利用して違う種類の植物を交雑させ新しい植物を生みだそうとしています。しかし、実現にはまだ課題があり、東山先生は日々研究を進めています。この研究が成功すれば、病気に強く早く育ち沢山とれる植物が生まれ、地球の食料危機を救うことができるでしょう。